山都町立潤徳小学校　学校だより

潤徳小伝説～永遠に～

潤徳小HP　令和５年５月２９日（月）　第１２号
QRｺｰﾄﾞ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

実際に育て、食を考える

鈴木宜弘著「世界で最初に飢えるのは日本」講談社＋α新書によると、日本の食料自給率は種・肥料の海外依存度を差し引くと「１０％を切る」。「日本は、食料安全保障上、大変危険な状態にあるということを認識すべきだ（前述書ｐ４３）」とありました。

現在、本校の各学年担当の花壇には食べられる野菜等（ナス・キュウリ・イチゴ等）が植えてあります。毎朝、そして休み時間には、水やりをしたり、育っている様子を観に来る子どもたちの姿があります。

「オーガニック農業の町」山都町で育っていることに誇りを持ち、実際に育てる経験を通して今後も農業に関心をもって「食料自給率を上げて、日本の食を守る」取組を進めていくリーダーがこの中からたくさん育ってほしいと願っています。

「夜間中学」が令和６年４月に開校します　校名：熊本県立ゆうあい中学校

入学資格は、右（４）にある通りです。県内には小学校のみ卒業または中学校を途中退学した人が約18000人（R2調査）、不登校や在留外国人の増加で学び直しを必要とする人が多くいます。こういった背景から「誰一人取り残さない学びの保証」という県の方針のもと、九州初の県立夜間中学が来年開校します。知り合いに「学びなおしたい」という方がおられたり、興味がある方は熊本県教育委員会ＨＰをご覧ください。学校からも今後の新しい情報は発信していきます。

4　県教育委員会としての夜間中学設置の基本方針

(1) 設置主体は県（熊本市と連携）
(2) 県立湧心館高等学校内に設置
(3) 令和6年（2024年）4月を目途に開校
(4) 熊本県在住の15歳以上で、義務教育を修了していない方、または卒業しても不登校等の理由により、十分に学ぶことができなかった方（国籍は問わない）
(5) 開校時にすべての学年を開設
(6) 各学年20人程度
(7) 県内全域（熊本市を含む）から入学可能
(8) ・授業料及び教科書代は無償
・教材費等は、実費を本人が負担

https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/143584_304646_misc.pdf

潤徳抄Ⅱ

「いつ載せるんですか？」「今日は載るでしょう！」本通信読者の中に、娘婿およびその父がいるが、これらはその二人から言われた言葉だ▼４月２３日に初孫が生まれた。プライベートを惜しみなく出す私にしては珍しく本通信に出していなかったので前述の言葉がかけられたのだ▼生後１ヶ月を迎えたので２７日に健軍神社でお宮参りをした。この日は大安。私たち以外にもお宮参り数組・挙式・新車のお祓いなど多くの人が訪れていた▼神社内で御祈祷を受け、場所を移動して両家で食事会を行なった。孫は食事中にうんこをしたが、それは笑い話へと変わる。子どもは、みんなを笑顔にする宝物だ▼娘夫婦は、熊本市内に土地を購入、予定では新築完成時期なのだが、工期がかなり遅れてまだ完成していない。こういうところにも人不足が影響しているのだろう。